



状況により、営業時間の変更がある場合がございますので、HPをご確認ください。

【高知はりまや集合酒場】

高知の新鮮で豊富な食材、高知のソウルフード、高知の肉、魚、酒、メが一つ屋根の下に集まり調和した「笑売共同体」の集合酒場。地元や近所の方はもちろん！観光客の方、仕事帰りの一杯と、おひとりさま～家族やお仲間、様々な形でお楽しみいただけます。食事も梯子で2件目3件目、飲みのみまで幅広く利用しやすい集合酒場です。

■こだわりのお肉がいっぱい！高知の有名焼肉店【でべそ はりまや店】 ■高知の鮮魚はここ！カツオの薫焼きも楽しめる高知魚酒場【魚卓】 ■創業昭和45年の高知名物 屋台餃子【いまだき安兵衛】誰かに教えて誰かを連れて行きたくなる集合酒場は今日も元気に営業中！

FBHPはこちらから！

【でべそ はりまや店】
088-855-3101
営業時間 / 17:00 ~ 23:00
定休日 / 月曜日

【入居者募集中】
1F12.4坪 2F12.4坪
管理会社 / フロインド不動産
お問い合わせ
088-884-7400

【魚卓】
088-855-8085
営業時間 / 17:00 ~ 24:00
定休日 / 日曜日

【いまだき安兵衛】
088-885-7762
営業時間 / 17:30 ~ 24:00
定休日 / 火曜日

※詳しいお店の情報は4面をご覧ください。



ウクライナからの避難民に対する支援をお願いします。

外務省 HP より 支援金の振込先 駐日ウクライナ大使館

銀行名：三菱 UFJ 銀行

支店名：広尾支店（支店番号：047）

口座種類：普通口座

口座番号：0972597

口座名義：エンバシーオブウクライナ



4月10日（日）、高知工科大学に勤務中のウクライナキウウ出身、コスチャンチン・オヴシアンニコウさん監修、思い出のウクライナ料理を高知の料理人が作るイベントや、コスチャンチンさんによる特別スピーチ、募金の呼びかけなどが行われました（高知大丸前）。政府を代表し、ポーランド視察、ウクライナ避難民と共に帰国された中谷元内閣総理大臣補佐官（人権担当）の視察報告もあり、現地の様子などをお話くださいました。よさこい祭りが高知に来てくれていたポーランドの踊り子達の顔が目につきました。同プロジェクトは、高知県内の新型コロナウイルス感染症対策の最前線に立ち止まる医療従事者の方たちにお弁当を届けるプロジェクトなどで、既にしっかりとしたスクラム体制と基盤ができており、今回の開発力のある動きに繋がった模様。ウクライナ料理を食プロの料理人が作って販売。収益を人道支援の為に寄付に使っていただければと開催されました。

昨日まで当たり前にあった人々の暮らし、食文化を知っていたら、少しでも難民支援に繋がれば！高知家「食」で応援プロジェクトとウクライナキウウご出身、コスチャンチン・オヴシアンニコウさん共同主催！

●チキンキエフ
当プロジェクトリーダーであり、高知座屋（Kochi Izariya）岡添将人さん（スペインでも活躍中）による、日本でも人気のウクライナ料理です。

○コスチャンチンさんからのメッセージ
キウウの学生生活の時、食堂で昼食に良く食べた大好きな料理。これは本当に懐かしい思い出です。

○岡添シェフからのメッセージ
世界中を旅して感じてきた料理を、日本料理に落とし込んで自分なりに表現しています。今回のイベントに関わり、初めてウクライナのことについて、色々と勉強することができました。初めて作った「キエフカツレツ」は、和のハーブも取り込み表現してみました。少しでも支援に役立ちますように…。

そしてこのように取り組むが少しでも広がり、世の中の料理人や、他の方が共感してくれまうように、今できることをやっていきたいと思っています。

Hi bi n n i Now war
早く平和な世の中が戻りますように

●ボルシチ
ラブリマヴォルタ 諏訪恵治シェフによる伝統的な「ボルシチ」*食材の一部を日頃からお付き合ひのある生産者さんから提供頂きました。

○コスチャンチンさんからのメッセージ
母親と祖母が良く作ってくれた代表的なウクライナの家庭料理。黒パンにサーロ（伝統食の豚脂身の塩漬）を載せたり、ボルシチと一緒に食べたりが最高です！

○諏訪シェフからのメッセージ
「こころと身体にやさしいイタリアン」をコンセプトに高知で17年になります。砂糖大根と呼ばれるビーツを原料に作る色鮮やかなスープ「ボルシチ」。自家製のスメタナ（ウクライナ風サワークリーム）とファームベジコンの姫ウイキョウ（ディル）をのせて、爽やかながらも滋味深い味を。このイベントに関わりウクライナの食文化や歴史、日本との繋がりを沢山学べました。日本の中にも、様々な世界の情勢、そこに生きる人々の想いに寄り添い、料理人である前に一人の人間として成長し、学んでいきたいと思っています。For a ウクライナ

●肉詰めビーマン&グリルロールキャベツ
パエリア日本代表キャプテンとしても活躍中の、南欧Baru Amistad「南欧バルアミスタ」瀬川大智シェフより。

○コスチャンチンさんからのメッセージ
祖母の得意料理で、普段昼食によく出てきた思い出の料理。サワークリームを載せれば、いくらでも食べられます！

○瀬川シェフからのメッセージ
高知から最高のパエリアを！と日々取り組んでいます。今回、高知在住のコスチャンチンさんに出会ったことが出来て、ウクライナ料理のことも学ばせて頂きました。出来ることを、少しずつでも行動する。その思いで、今回の取り組みにも参加しました。

本場に多くの皆さんにご協力頂き、ウクライナ問題に対する大きな関心を痛感する一日となりました。ウクライナに平和が戻り、温かい食糧を届ける日が来るように、これからも出来ることを一歩一歩行動していきたいと思っています。思い立ってから10日余りの急なイベント、協力頂いた全ての皆さんに心より感謝申し上げます。

（高知県県議会議員 大石 秀）

南欧Baru Amistad(帯屋町)
パプリカ肉詰め

南欧Baru Amistad(帯屋町)
グリルロールキャベツ

高知座屋(廿代町)
チキンキエフ

ラブリマヴォルタ(はりまや町)
ボルシチ

編集後記

3年ぶりに行動制限のないゴールデンウィーク！「中種横丁マーケット」も盛り上がっていましたね。近隣のお店やホテルも随分活気が戻っていたように思います。

はりまや
STORY
ご協賛各社

日本初の木造アーケードは人もこじやんとあつたかい

はりまや橋商店街
高知市はりまや町1-5-14 2F
TEL088-882-4174

はりまやライト
高知市南はりまや町1-2-20
TEL088-802-6130

高知はりまや集合酒場でウワサの餃子を！

いまだき安兵衛
高知市はりまや町2-7-6
TEL088-885-7762

テイクアウト情報も是非HPより！

はりまやライト
高知市南はりまや町1-2-20
TEL088-802-6130

ゲストと心が近づく感動の挙式場

オワソブルー
高知市はりまや町2-5-15
TEL088-880-0222

デザインの可能性を求めて

(株)ファクトデザイン事務所
高知市はりまや町3-19-15
TEL088-885-3230

マスターはしぶい町の語り人

カフェ・ド・ラペ
高知市はりまや町2-8-8
TEL088-884-5740

新しいHPができました

布工房 めろでい〜
高知市はりまや町1-5-11
TEL088-861-1073

詳しい内容のお問い合わせはこちら

TEL.090-3784-3307 FAX.088-894-5855

※取材で留守にすることが多いので、ご用件はFAXで頂けるとありがたいです。

●発行部数:5,000部 ●令和4年5月10日発行

●第22巻第3号通巻108号

●企画・制作・デザイン・発行／アトリエよくばりリス

〒780-0301 高知市春野町弘岡上1176-2
[携帯] 090-3784-3307 [e-mail] korisu@lime.ocn.ne.jp

今までのバックナンバーは
@はりまやSTORY から
ご覧になっていただけます。

広告料金 20,000円
12cm×12cm

広告のお申込はこちらまで
TEL.090-3784-3307

はりまやSTORYは2ヶ月に一度5,000部発行。
はりまや町界隈のポスティングもしています。





同日開催「What a ワンダフルワールド！」。それ
そのやさしい想い」では、命の根っこ、元気に直結
する「食」を、スペシャルゲスト×オーガニックフェス
タ×映画監督でクロストークセッション！ 東京で長く
信頼され続けているお店・ガイアの清水仁司さん、今年
のオーガニックフェスタ生産者から、パティスリー・ピ
オの泰泉寺里さん、ザイオン・バレー・ファームの高橋
宇為さん、TAMファームの田村雄一さんが登壇され、
オーガニックってなに？ それぞれの視点からみるやさし
い想いについて、お話しされました。トークセッション
の模様は、高知オーガニックフェスタの公式インスタグ
ラムで、現在配信されています。ぜひご覧ください。

今回は、「子どもたちの五感に届く体験を」という実行
委員会メンバーの想いとアイデアで、オーガニック食材
で作るボン菓子体験コーナーが出現。15分に1回、花
火のようなまさに「ポーンッ」という大きな音が商店街
に響き渡り、みんなその迫力に驚いたり、50年間ボン
菓子作りに励んでこられた石川君義さんが作る香ばしい
ボン菓子の香りに、心ほどける表情を浮かべていました。
材料は、すべて有機の大豆やお米、きび、種子島洗糖が
使われ、一人でも多くの子どもたちに体験をして欲しい
との想いから、なんと子どもたちには無料で配られてい
ました。一人の子が、「みんなこちにボン菓子がある
よ！」とみんなを連れてきたり、何回も来る子もいたそ
うです(笑)。

さらに、子どもたちが笑顔の未来を描く異業種チーム
「わっしょい！」による大豆の脱穀体験も行われ、歩きは
じめたばかりの小さな子が、お父さんお母さんと一緒に、
昔ながらのヨコツチという重い脱穀用の木槌を持ち、一
生懸命に脱穀している姿もあり、周囲にも笑顔が溢れて
いました。
みんなマスクの下は笑顔だなということが分かるくら
い、商店街にも賑わいが戻り、たくさんの方が来場され
ました。

【お問い合わせ先】
■高知オーガニックフェスタ実行委員会事務局
メール ko2019@ko-yuken.org
■高知オーガニックフェスタ公式Instagram
[@kouchiorganicfesta](https://www.instagram.com/kouchiorganicfesta)
本イベントは、当初1月30日に予定してお
りましたが、新型コロナウイルスの感染が拡
大していた状況を鑑み延期させていただきました
が、その日差しに思いを込めてくださった方
がいらして、大変申し訳ございません。
何卒、ご理解のほど、よろし
くお願い申し上げます。



【写真】高田佳乃、高知オーガニックフェスタ実行委員会 提供



第5回 高知オーガニックフェスタが開催されました。

3月13日(日)、高知市のはりまや橋商店街・魚の棚商店街アーケードにて、第5回高知オーガニックフェスタが開催されました。コロナ禍
で、商店街での開催は2年ぶり。朝は、第5回実行委員長を務めた、映画監督の安藤桃子さんが、「すべてのイノチにやさしい、オーガニックフェ
スタを満喫してください」と元気に挨拶されスタート。山あいの畑の農家さんをはじめ、高知県内各地から個性豊かな出店者25店舗が集い、
高知の豊かな太陽の恵みと、生産者の皆さんの愛をたっぷり受け、様々な環境で育てられたお野菜や果物、ケーキ、お菓子、お惣菜などが、商
店街にずらりと並びました。色も形もそれぞれで、食感も一つ一つ違って驚いた「新鮮なものがいっぱい嬉しい」という声も聞こえてきました。



СИМПТОМИ

температура Netsu (熱) 	кашель Seki (咳)
нудота Hakike (吐き気) 	диарея Diar (下痢)
запаморочення Memai (めまい) 	біль Itai (痛い)

приклад

(погане самопочуття)
Guai ga warui....
具合が悪い.....

(болить живіт)
Onaka ga itai....
お腹が痛い.....

(сильно болить живіт)
Onaka ga sugoku itai !!
お腹がすごく痛い.....

лікарня → Byoin 病院

мені треба до лікаря → Byoin ni ikitai.
病院に行きたい
де знаходиться лікарня? → Byoin wa doko desuka?
病院はどこですか？

різновид лікарні

(поліклініка) Sogobyoin 総合病院	(отологична клініка) Seikougaka 整形外科	(POP - «ухо-гортан-ніс») Jibika 耳鼻科
(клініка, що спеціалізується на внутрішніх захворюваннях) Naika 内科	(хірургія) Geka 外科	(незіатрія) Shonika 小児科
(офтальмологія) Ganka 眼科	(гинекологія) Hujinka 婦人科	(урологія) Hinyokuka 泌尿器科
	(стоматологія) Shika 歯科	

назви частин тіла

внутрішні органи

як довго?

(з учора) Kinô kara 昨日から
(протягом 3-х днів) Mikka mae kara 3日前から
(протягом тижня) Isshukan mae kara 一週間前から
(час від часу) Tokidoki ときどき
(часто) Shocchû しょっちゅう
(завжди) Zutto ずっと

наскільки сильно?

(трохи) Sukoshi (少し)

(помірно) Sokosoko (そこそこ)

(середньо) Kanari (かなり)

(сильно) Sugoku (すごく)

ウクライナから日本に避難されてきた方に使っていたきたい「日本語カード」(病院編)が完成しました。関係機関にもお届けしますが、必要な方はこちらからコピーしてご自由にお使いください。(くさか里樹)

高知在住で活躍する漫画家のくさか里樹さん。「ケイリン野郎」や「ヘルプマン」などの代表作があります。以下も、くさかさんのメッセージです。カードというよりはプリント。持ち運べるリングカードを作る時間があったので、すぐに刷って配れるようにしました。ウクライナご出身で、高知工科大学研究員コシヤンチン博士が翻訳をしてくださいました。博士、ほんとにありがとございました。このコメントをSNSで見つけて、すぐにはりまやSTORYのwebからも、ウクライナから日本に避難して来られた方々にお届けできればと思いました。母校の先輩、畠中智子さんもすぐにシェアされ、応援コメントを寄せておられました。漫画家ならではの表現力がわかりやすい！実際に使う場面が無いに越したことないけど、それでもこんなコミュニケーション手段があるということは非常に心強いのではないかと思います。この絵を元に各国バージョンに挑められるといいですね。耳の不自由な方々、声を発することができない病気の方々にも役立ちそうです。くさかさんのアイデアと行動力に、漫画王国土佐の誇りを感じました。

祝 土佐女子中学・高等学校120周年

高知病院の待合室
や入院患者さんも楽しめる様にと、ボランティアでお手入れさせていただきました。チューリップや珍しい植物はモネの庭から仕入れました。これらもどんどん、いろんな花が咲いてくれます。楽しみです。

卒業生
(美術部・園芸部出身)
株式会社デカゴン
柴田恵子さんより

Original Sweets

パティスリー ¥850
コーヒームース ¥500